

5月20日 の海外相場					
COMEX/NYMEX (\$)	Gold (Dec)	Silver (Dec)	Platinum (Oct)	Palladium (Dec)	
Open	4,570.6	78.050	1,980.7	1,408.5	
High	4,593.2	79.400	2,002.9	1,434.0	
Low	4,467.1	73.345	1,926.3A	1,352.0	
Settlement	4,511.2	75.159	1,945.0	1,363.2	
Change	-46.8	-2.285	-32.4	-57.8	
EFP	2.00	4.00	10.00	20.00	\$0.00 \$10.00

Fixing Prices		
LBMA/LPPM Fixing (\$)	AM	PM
Gold	4,474.30	4,482.85
Silver	75.650	-
Platinum	1,936.00	1,936.00
Palladium	1,380.00	1,359.00

**コメント**

Precious Metal  
 金：上昇 銀：上昇 プラチナ：上昇 パラジウム：横ばい  
 昨日のマーケットは、米国とイランの和平協議進展期待を背景に、原油安・金利低下の流れとなり、全体としてはややリスクオン寄りの展開となった。  
 貴金属市場では、原油価格の下落と米長期金利の低下が支援材料となり、金は底堅く推移した。中東情勢を巡る不透明感が残るものの、米・イラン協議が最終段階に近づいているとの見方から、過度な地政学リスクへの警戒感の後退。金は欧州時間以降に買い戻しが優勢となり、一時4,552ドル付近まで上昇した。銀・白金族についても、金利低下を背景に買いが入り堅調に推移。一方で、FOMC議事録では利上げ可能性を容認する姿勢も示されており、FRBのタカ派姿勢への警戒感を引き続き上値を抑える要因となっている。

FX  
 ドル円：下落 ユーロドル：上昇  
 為替市場ではドル円が8営業日ぶりに反落した。米10年債利回りの低下幅縮小を受けて一時159.17円まで上昇したものの、米・イラン協議進展への期待が高まると、有事のドル買いが後退。トランプ米大統領が「協議は最終段階に入っている」と発言したことも重しとなり、ドル円は一時158.60円まで下落した。その後は、イラン側の慎重姿勢もあり158.90円台まで持ち直した。ユーロドルは反発。一時1.1583ドルまで下落し約2カ月ぶり安値を付けたが、米イランの早期合意期待を背景にドル買いが巻き戻され、一時1.1645ドルまで上昇した。

ドル円：158.92 ユーロドル：1.1624

5月18日 週の経済指標一覧					
	05/18 (月)	05/19 (火)	05/20 (水)	05/21 (木)	05/22 (金)
Americas	前	予	前	予	前
	前	予	前	予	前
	前	予	前	予	前
	前	予	前	予	前
	前	予	前	予	前
	前	予	前	予	前
APAC	前	予	前	予	前
	前	予	前	予	前
	前	予	前	予	前
EMEA	前	予	前	予	前
	前	予	前	予	前
	前	予	前	予	前

Source: みんかぶ

COMEX/NYMEX 投機的建玉				
2026/5/12	Gold (Mil oz)	Silver (Mil oz)	Platinum (koz)	Palladium (koz)
Long	26.8	339.8	1,814.4	891.6
Short	6.3	115.6	569.2	975.7
Net	20.6	224.2	1,245.2	-84.1
Change	1.2	19.8	152.5	1.3

Source: CFTC

他社への転送・転用 堅くお断りいたします。

当資料は、信頼できると判断した情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保障するものではありません。当資料はお客様のお取引判断の参考となる情報提供を目的としており、弊社は、この情報の使用結果について一切責任を負いません。